

港北区制80周年記念

見砂和照と東京キューバンボーイズ

ラテン音楽の魅力

結成70周年特別公演

灼熱のマンボ！情熱のルンバ！

日本の音楽史に燦然と輝く東京キューバンボーイズが贈る

迫力の演奏とラテンの名曲集！



2020年1月25日土

会場 港北公会堂 16:00開演(15:30開場)(東急東横線「大倉山駅」から徒歩7分)

予定演奏曲 ◎マンボ・ナンバー5 ◎闘牛士のマンボ ◎グラナダ ◎マイアミ・ビーチ・ルンバ ◎城ヶ島の雨 ほか

入場料 前売 一般 2,500円、中学生以下 1,500円 (当日) 一般 3,000円、中学生以下 2,000円

※全席自由 ※未就学児入場不可 ※前売券が完売した場合、当日券なし ※当日券は港北公会堂のみにて販売

前売券販売開始
11月15日金

電子チケットぴあ [Pコード: 151-670 セブン-イレブンで購入可]
ローソンチケット [Lコード: 34315 ローソン、ミニストップで購入可]
e+ (イープラス) [ファミリーマートで購入可]
東急トラベルサロン日吉駅、天一書房大倉山店・綱島店、港北区役所3階売店

主催 港北芸術祭実行委員会 / 港北区役所

お問合せ 港北区役所地域振興課 TEL 045-540-2239 FAX 045-540-2245 港北区文化情報 検索



見砂和照と東京キューバンボーイズ

1949年、見砂直照（みさごただあき）により結成される。

第二次世界大戦後、日本にマンボ旋風が到来。東京キューバンボーイズは一躍ラテンバンドのスターダムへと駆け上がる。以後、マエストロ見砂氏の情熱と完璧主義は、多くのラテンファンや東京キューバンボーイズファンを生み出し、1980年の解散まで30数年間に渡り、日本のラテンビッグバンドの王座に君臨した。

結成以来、通算300枚以上のアルバムを発表という金字塔を達成したことは、日本のラテン音楽界、またポピュラー界に、多大な影響を与えたことはいままでもない。

また、見砂直照氏は日本でのキューバ音楽の普及、ひいては両国の相互理解の為に尽力し、多大な功績を残した。1982年、キューバ共和国から文化勲章、1983年、日本政府から勲四等旭日小綬章を授与されるなど、“両国友好の永遠のシンボル”といわれた。

2005年、見砂直照の遺志を受け継ぎ、子息である「見砂和照（みさご かずあき）と東京キューバンボーイズ」として正式に活動を開始した。

2019年、結成70周年を迎えた。



見砂和照



メンバー

見砂 和照 Kazuaki Misago (Conductor, Leader)

ルイス・バジェ Luis Valle (Trumpet)

石井 真 Makoto Isihii (Trumpet)

竹内 悠馬 Yuma Takeuchi (Trumpet)

城谷 雄策 Yusaku Shirotani (Trumpet)

大高 寛 Minoru Ohtaka (Trombone)

早川 隆章 Takaaki Hayakawa (Trombone)

内田 日富 Hitomi Uchida (Trombone)

佐々木 匡史 Tadashi Sasaki (Bass-Trombone)

貫田 重夫 Shigeo Nukita (Alto Saxophone)

斉藤 晴 Kiyoshi "Hal" Saito (Tenor Saxophone)

加塩 人嗣 Hitoshi Kashio (Alto Saxophone)

五十嵐 正剛 Seigou Igarashi (Tenor Saxophone)

武田 和太 Kazuhiro Takeda (Baritone Saxophone)

あびる 竜太 Ryuta Abiru (Piano)

武藤 祐二 Yuji Mutou (Bass)

矢野 顕太郎 Kentarou Yano (Drums)

石川 浩 Hiroshi Ishikawa (Conga)

斉藤 恵 Megumu Saitou (Timbales)

佐藤 唯史 Tadashi Sato (Bongo)

【港北公会堂へのアクセス】

●東急東横線「大倉山駅」徒歩約7分

●JR 横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜駅」バス約7分

横浜市営バス・川崎鶴見臨港バスで「港北区総合庁舎前」下車 徒歩約1分

【港北芸術祭】

「港北芸術祭」は、「港北のまちを芸術でいっぱいになろう」と、区民の皆様身近な場所で、気軽に文化芸術に親しんでいただくため、毎年な様々な公演を行っています。

